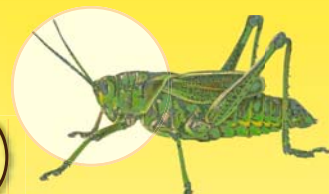


オンラインセミナー

バッタは悪魔か救世主か？

～変化する気候と昆虫たち～



視聴無料
(要申込)
定員
400名

2021年2月27日(土)
13:30～16:15

アフリカでバッタが大発生したニュースを覚えていますか？
バッタなどの昆虫は、気候に合わせて住む場所や生態を変化させてきました。
人間はそんな昆虫から農作物を守る技術や、食べる文化も発展させてきました。
身近にいるバッタについていろいろな視点で学んで、アフリカから中部地方に、
バッタとともに飛んで旅をしてみませんか？

講演 1

昆虫はどうして国境をこえるのか？－日本にせまりくる虫たち

あだち たらう

東京農業大学 国際食料情報学部 教授 足達 太郎氏

講演 2

イナゴは食べ物！じゃあバッタは？－食文化の多様性と環境への適応

のなか けんいち

立教大学 文学部 教授 野中 健一氏

講演 3

なごや生物一斉調査 バッタ調査について

とだ なおき

名城大学 農学部昆虫学研究室 研究員 戸田 尚希氏

お申し込み方法 申し込み期限：2月21日(日)まで

1. 右のQRコード、または下のURLからお申し込みください。

<https://janus.webex.com/janus/onstage/g.php?MTID=e5f92d7ba0cc2b1882f99534d9da02b9c>

2. お申し込みページにある[登録]をクリックし、必要事項を入力し、[送信]をクリックしてください。



*登録完了メールが届かない場合は、迷惑メールの設定で"@webex.com"のメールアドレスを受信する設定にしたのち、再度登録してください。

講師プロフィール

足達 太郎（あだち たろう）：東京農業大学国際食料情報学部 教授

大学卒業後、青年海外協力隊員としてガーナで活動するが、現地の人たちにたすけてもらうばかりの3年間だった。帰国後、アフリカにもどりたい思いがつのり、研究者をこころざす。アフリカ滞在期間は通算9年。専門は応用昆虫学・熱帯作物保護学。

野中 健一（のなか けんいち）：立教大学文学部 教授

名古屋大学大学院文学研究科中退。理学博士。専門は文化環境学・地理学。自然と人間との関わりあいの在来技術・知識について、日本・東南アジア・南部アフリカをフィールドに研究。主な著書に『民族昆虫学』（東大出版会）、『虫食む人々の暮らし』（NHK出版）、『環境地理学の視座』（昭和堂）など。

戸田 尚希（とだ なおき）：名城大学農学部昆虫学研究室 研究員

名城大学薬学部卒 薬剤師。株式会社名古屋昆虫館 取締役主任研究員。

名城大学農学部昆虫学研究室研究員。専門は、オサムシ科ゴミムシ類の形態分類。

レッドデータブックあいち、ブルーデータブックあいち、グリーンデータブックあいち、レッドデータブックなごや等の昆虫分野の執筆に携わる。

タイムテーブル

時間	内容
13:30	開会 主催者挨拶
13:40	【プロローグ】 気候変動に備える「適応」とは？ 環境省中部地方環境事務所
13:50	【講演1】 「昆虫はどうして国境をこえるのか？ー日本にせまりくる虫たち」 東京農業大学 足達太郎氏
14:35	休憩（10分）
14:45	【講演2】 「イナゴは食べ物！じゃあバッタは？ー食文化の多様性と環境への適応」 立教大学 野中健一氏
15:15	【講演3】 「なごや生物一斉調査 バッタ調査について」 名城大学 戸田尚希氏
15:30	休憩（10分）
15:40	質疑応答
16:15	閉会

【ご留意いただきたい事項】

- ・本セミナーの視聴にあたり、必要な通信機器および通信料金等は視聴者の負担となりますのでご了承ください。
- ・申込の際に入力いただく個人情報は、本セミナーに関するご連絡のみに使用します。
- ・インターネットの接続状況や回線状況等により、本セミナーの動画視聴の品質が影響を受ける場合がございます。
- ・権利保護のため、本セミナーの録音、録画、撮影等は禁止といたします。